
NEWS RELEASE

報道関係者 各位

衣料繊維事業における環境配慮型設備投資に関するお知らせ
～革新紡績系「Breeza[®]」の増産投資について～

当社グループでは、人と地球に「やさしく、あったかい」という経営理念のもと、持続可能な社会の実現に向けた貢献と企業の永続的な成長と発展を目指してサステナブル経営を進めております。今般、衣料繊維事業において、環境に配慮した革新紡績機の増設に約3億円の設備投資を決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 概要

当社 衣料繊維事業本部は、SDGs ビジョン「Weaving for the future～未来を織りなす～」を掲げ、人と環境に配慮した製品開発など全ての活動においてSDGsを意識した取り組みを推進しております。また、独自技術を用いた紡績系による販売拡大を事業戦略の一つの柱として位置付けております。

この度、設備の増設を決定した環境配慮型の革新紡績系「Breeza[®]（ブリーザ）」は、2018年に試験機を導入し、数多くの改良を重ねて量産化に成功した当社独自の紡績技術※によるものです。Breeza[®]は、当社従来品に比べ消費エネルギーをCO₂換算で約55%削減し、着用中や洗濯中のマイクロプラスチックの放出を約75%削減する環境配慮型の画期的な革新紡績系であり、既に主力事業である学生服向け生地を中心として販売を開始しております。

現在では、SDGsの潮流が定着し、衣類の調達や購入に関しても環境配慮が重要な判断要素となりつつあることから、今後は、学生服向け生地に加えて、企業制服向け生地やニット製品など、多くの市場で需要の拡大が見込めると判断し、生産能力の大幅な増強を決定いたしました。

また、Breeza[®]紡績技術は、当社が実証実験を開始した「循環型学生服」の取り組みのベースとなる技術です。今後、廃棄物の削減を実現し、環境教育にも寄与する取り組みを拡大してまいります。

2. 投資内容

- (1) 導入場所：日本毛織株式会社 衣料繊維事業本部 岐阜工場（岐阜県各務原市）
- (2) 導入設備：Breeza[®]紡績機
- (3) 最大生産能力：180t/年（現有能力60t/年を含む）
- (4) 投資金額：約3億円

3. 導入時期

2023年11月末 本格稼働予定

Breeza™

ブリーザ

Breezaは、サイクロンスピン製法により、人と地球に優しい未来を実現する紡績糸です



※サイクロンスピン製法

回転気流によりウールとファインポリエステルなどの他繊維を均一に絡ませながら糸にするニッケ独自の紡績手法です。

(特許第 6303077 号)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲今回の取り組みに関連するSDGs 目標

以上

《本件に関する問い合わせ先》

ニッケ 衣料繊維事業本部

製造統括部長 近藤 浩行

Tel : 06 - 6205 - 6660